

の製造業に貢献

的な試験機メーカー
社の日本支店（代表・
月19日、横浜新技術
チャープラザ）に入居
を開始した。

力製品である「スク
機」=写真=は、摩擦
食防止を目的に、金属
れた薄膜コーティング
度強度があるかを測
である。

と、その部分の摩擦抵
たりすることがある。
かかると薄膜が壊れる
開発において非常に重
バイオマテリアルから
野など多岐にわたる。
県にあり、機器メー
と取引を行ってきた。

販売に切り替え、アフ
など、日本での事業展
そのため交通アクセス
高い横浜に支店を移転

プラザでは、上記業務
学・研究所との共同研
、大学などと共同で自
試験の実証実験を行い、
ハードに改良を加えて
試験機の日本におけ
を目標としている。

ィングや研究開発の成
発部門にフィードバッ
組み込んだ同社の新製
来が期待される。

（日本支店）

区小野町75-1

ラザ1号館

nstruments.com/ja

支援財団）

インドでビジネスプラン競う



去る8月、インド・バンガロールで開催された「アジアの起業家オーディション」に、ダンウェイ（川崎市中原区、高橋陽子社長）が出場した=写真。この起業家オーディションは、インテルとインド科学技術庁（DST）が主催するもので、アジア12カ国から計24チームの起業家が参加した。

それぞれのビジネスプランを競い合い、上位2チームの優勝者には、米国カリフォルニア大学バークレー校で開催されるインテルグローバルチャレンジ（起業家オーディションの世界大会）への出場権と、賞金7500米ドルが贈られる。オーディションまでの2日間は現地のインド経営大学院バンガロール校（IIMB）でビジネスプランのブラッシュアップや、効果的な発表方法についてレクチャーを受けた。

同社は、障害者、高齢者でも扱いやすいホームページ作成ソフト「ICT治具」を開発、障害者の自立、子供や高齢者などの地域コミュニティーの実現を目指し、ビジネスプランを発表、注目を集めた。惜しくも入選こそ逃したが、高橋社長は、「今後の事業展開を整理する上でも非常にいい機会となった。この1年を目標に川崎モデルから日本モデルを打ち出すことで海外へも展開したい」と抱負を語った。

●ダンウェイ

〒211-0044 川崎市中原区新城1丁目12番15号

☎044(740)8837、FAX044(740)8838

アドレスはinfo@danway.co.jp

URLはhttp://www.danway.co.jp/

（情報提供・川崎市産業振興財団）